

人権が尊重される授業づくりチェックリスト

授業の具体的な場面で、「人権が尊重される授業づくり」の意識をチェックしてみましょう。次の23項目について、自分の授業を振り返ってみてください。（項目は、大阪府教育センター「OSAKA人権教育ABC Part 3 ―集団作り（探究編）―」から引用）

（3点：よくあてはまる 2点：あてはまる 1点：あまりあてはまらない）

項 目		3点	2点	1点
ア	①授業の中で「分からない」と言える雰囲気がある。			
	②疑問に思うことをすぐに尋ねられる場・機会を設定している。			
	③多様な意見や考え方（発言）を大切に取り上げている。			
	④「分からないことははずかしいことではない」「疑問を出すことはすばらしいことだ」という価値観を普段から育てている。			
イ	⑤誰の発言も尊重されている雰囲気がある。			
	⑥友だちの発表に注目しようとする雰囲気がある。			
	⑦授業内で全ての児童生徒たちが発言できる機会をつくっている。			
	⑧発表はみんなの方を向いて行われ、発表を聞くと、発表者の方を見るなど、傾聴の雰囲気がある。			
ロ	⑨友だちの意見に関連付けて自分の意見を発表するよう支援している。			
	⑩多様な意見が出されるように授業展開を工夫している。			
	⑪友だちの意見に対して相互に評価させるようにしている。			
	⑫お互いの努力や成長を評価させる機会をつくっている。			
	⑬友だちと協力して導かれた結論が、集団の成果として共有されている。			
ハ	⑭つまづいている友だちに対して、教え合いや励ましなど、温かい雰囲気がある。			
	⑮授業の中で児童生徒が協力する場面を設定している。			
	⑯協力できる友だちを徐々に増やし、さまざまな友だちや男女間の協力が進むようにしている。			
ニ	⑰「この子はどうせできない子だ」などと友だちを決めつけず、できない・やらない理由を丁寧に聞き出し、自分たちの課題として受け止めようとする雰囲気がある。			
	⑱友だちにとって本当にためになる（優しい・厳しい）関わりをしようとする雰囲気がある。			
	⑲友だちの頑張りや励ましを受け止めて、自分も努力しようとする雰囲気がある。			
ホ	⑳自分たちで主体的に取り組める課題を設定している。			
	㉑その日の学習についての振り返りの場を設定している。			
	㉒学年などで授業の手法や発問などについて一致させて進めている。			
	㉓一斉授業の中でも、ペア学習やグループ学習などを取り入れている。			

【チェックが終わったら、次の集計表にア～カそれぞれの項目で合計した点数を記入する。】

合計得点		◎	○	△	授業づくりの様子	おすすめの手立て(レシピ集)
㊦	／ 1 2	1 2 ～ 1 0	9 ～ 7	6 ～ 4	疑問や不安を言える雰囲気 の授業	ペアトーク 書いたものを見せる 旅行学習 意見を写す
㊧	／ 1 2	1 2 ～ 1 0	9 ～ 7	6 ～ 4	誰もを尊重する雰囲気 の授業	発表の様子を見守る リレー指名 指名なし発表 秘密のマイク 子どもたち による学習課題設定
㊨	／ 1 5	1 5 ～ 1 2	1 1 ～ 8	7 ～ 5	相互の高まりや認め合いが ある雰囲気 の授業	お互いの発表・評価の場や認 め合う場の設定 意見の練り合い・高め合い
㊩	／ 9	9 ～ 7	6 ～ 5	4 ～ 3	協力・助け合いがある雰 囲気 の授業	教え合い・見せ合い
㊪	／ 9	9 ～ 7	6 ～ 5	4 ～ 3	共に生きる仲間としての関 わりがある雰 囲気 の授業	グループ発表 教え合い・見せ合い 自分の役割を探る場
㊫	／ 1 2	1 2 ～ 1 0	9 ～ 7	6 ～ 4	授業の設定と指導が統一さ れた授業	子供たちによる学習課題設定 ふり返しカード

合計得点により、自分の授業づくりの様子がどのような傾向であるのかが見えてきたと思います。点数が高かった項目は、これからも維持していきましょう。低かった項目は、「人権が尊重される授業づくりの視点例や、次の「人権が尊重される授業づくりを進めるための手立てレシピ集」を参考に、人権が尊重される授業づくりをしていきましょう。

この「チェックリスト」は、佐賀県人権・同和教育研究協議会人間関係づくり研究委員会『子どもと子どもをつなぐ～学校生活をより楽しくするために～』 2014年 pp.3-4を参考に一部加筆・修正しました。